

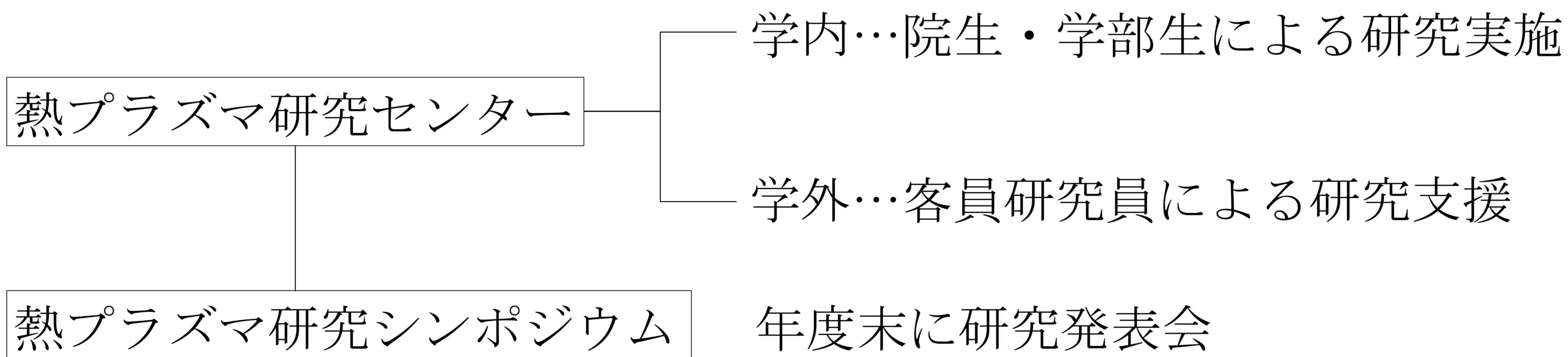
プラズマアークによる有害廃棄物等の 環境調和処理技術の開発

研究代表者 稲葉次紀 研究員

①今年度の研究計画

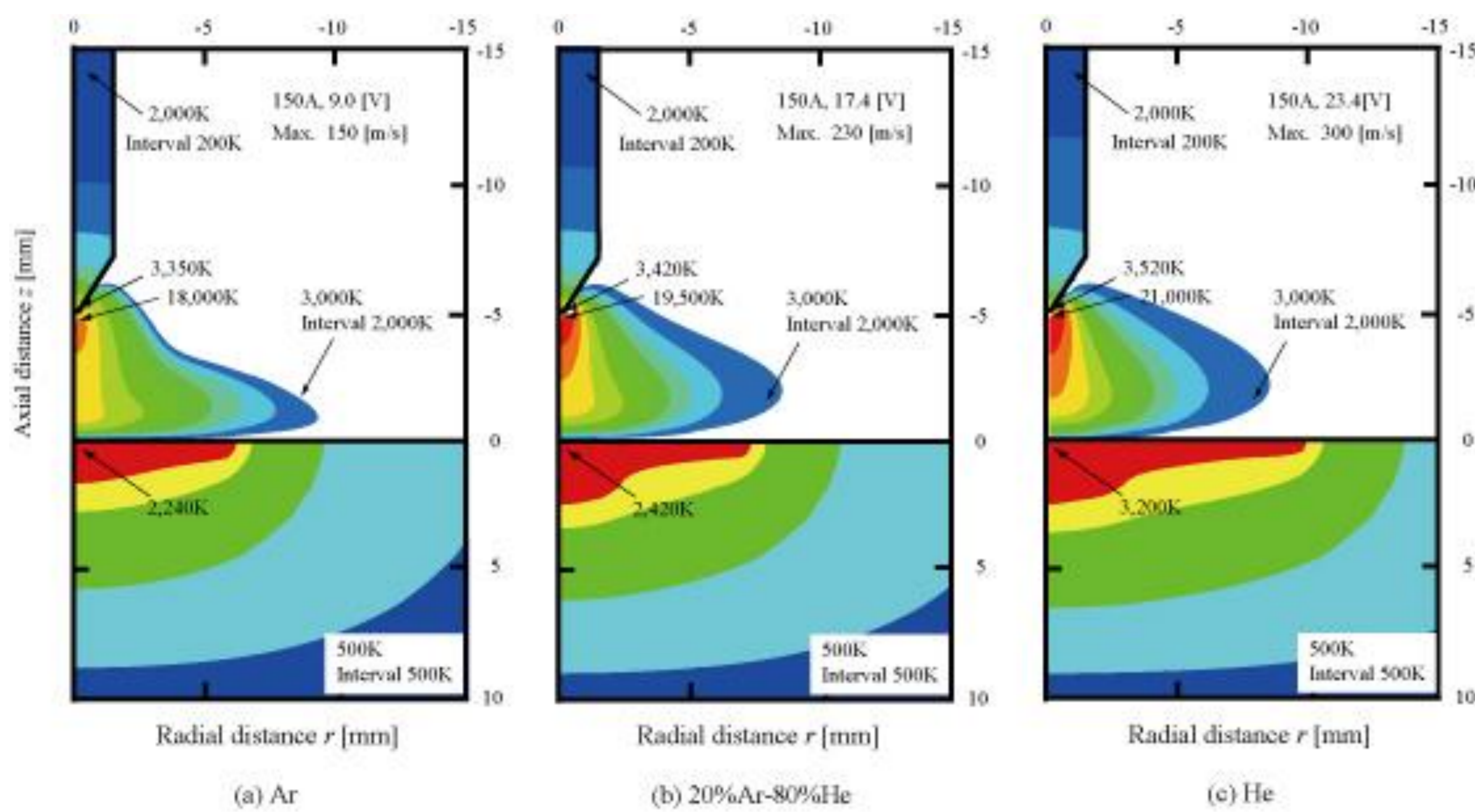
- (1) マルチプラズマの温度分布を測定すると共にシミュレーションを行い広温度処理領域の拡充を図る。
- (2) 土壌改質の一環として、pH（塩基度）を対象植物に合わせて制御し、大量処理方式の試算を行う。
- (3) 減圧アークプラズマによる表面凹凸の窒化現象による強度向上を図る。
- (4) プラズマ放射光のうち、紫外線による滅菌効果を実験面より確認する。

② 研究体制

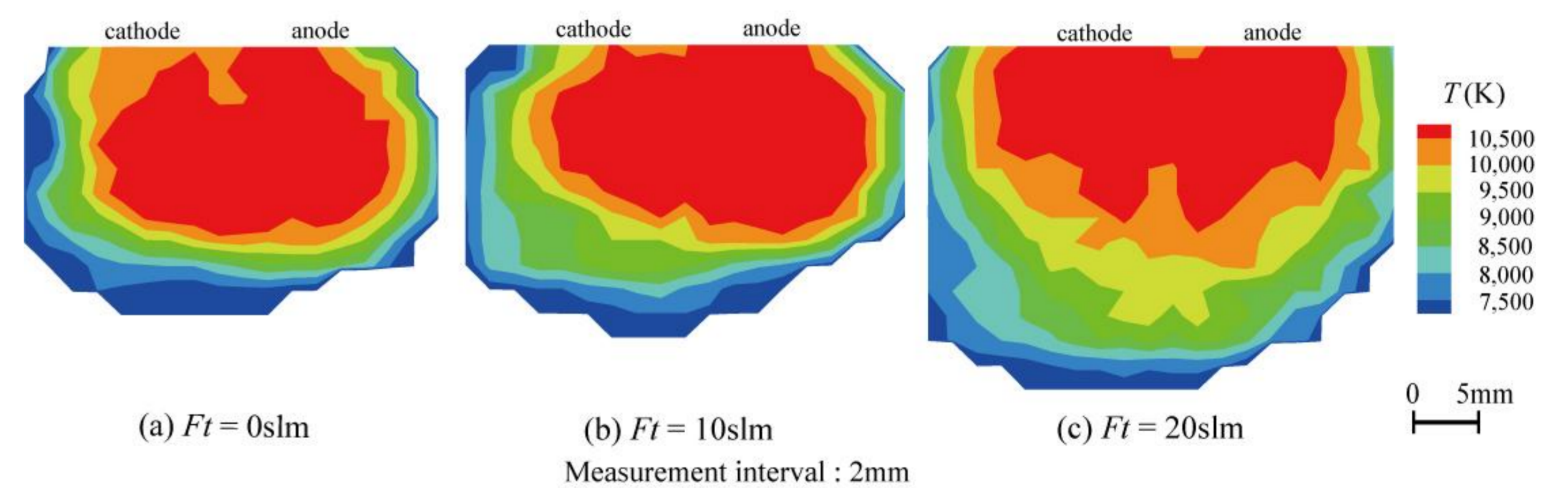


③ 主な研究成果

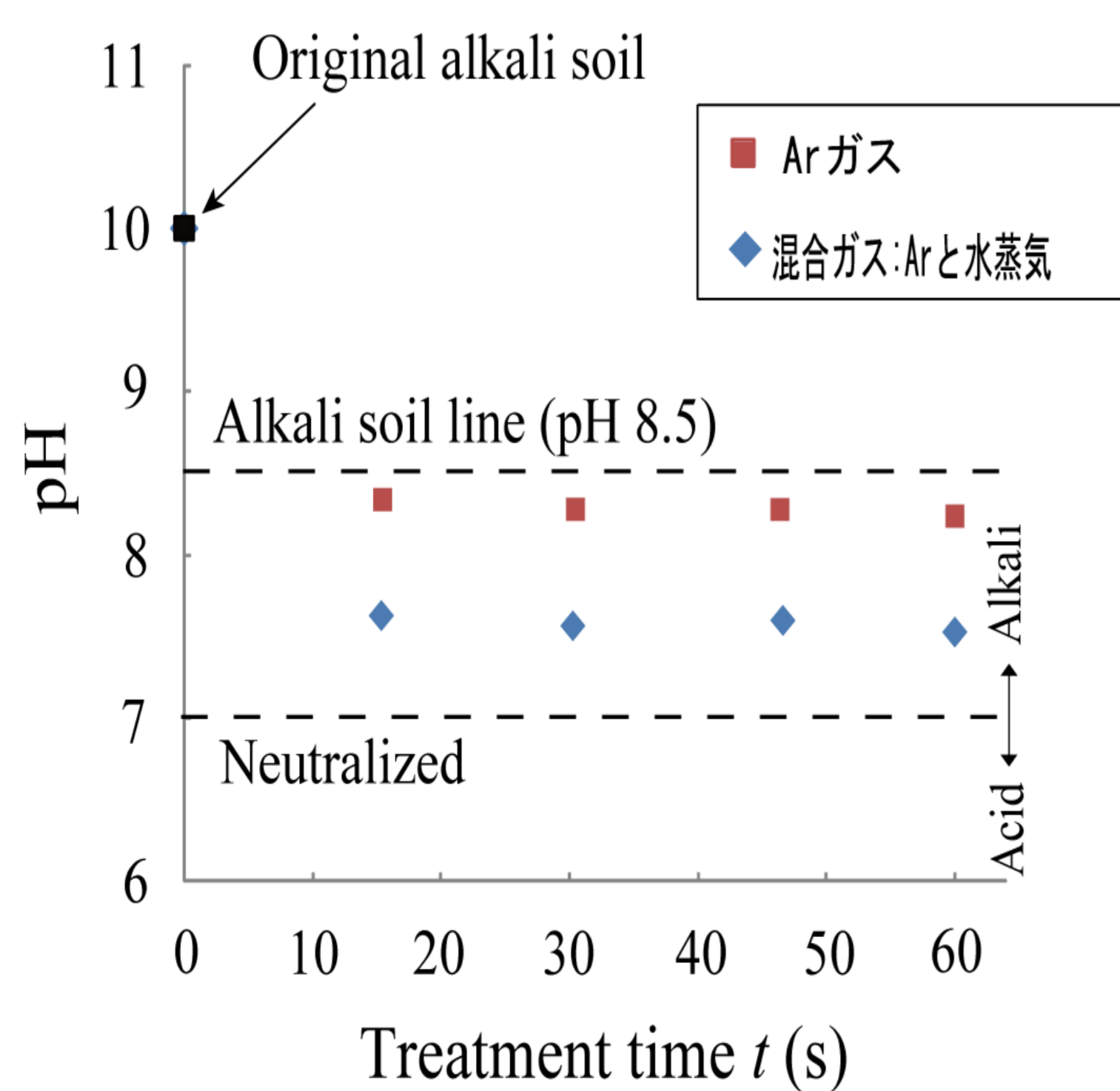
トーチプラズマの温度シミュレーション例



マルチトーチプラズマの温度分布実測例



トーチプラズマによる土壌の処理時間とpHの変化特性の例



トーチプラズマによる電極変化時における殺菌能力の比較例

